

未来・図書館の基本理念・基本方針



1 基本理念

未来をつくる『わたしの居場所』

未来・図書館は、誰もが気軽に訪れ、ずっとここにいたい「わたしの居場所」と感じ、いい日々が続くように自分たちの未来を想像し、そのために何かしたいと考える時間が生まれるような滞在型施設を目指します。

なお、未来・図書館の特徴と目指す具体的な姿は、次のとおりです。

No.	特徴	目指す姿
1	市民の学び、成長、楽しみに役立つ情報拠点である図書館機能と、深く洞察し実践することで未来を生きる力を育てていくコミュニティプレイスである未来館機能との融合	一人一人の「見つける」「やってみる」「知る」「わかる」「探す」などの“たんきゅう（探究・探求）”と、学びのための多様な活動がつながり合い、更なる促進につなげる施設
2	未来・図書館と市民の生活を支える行政事務を行う庁舎機能との複合化	地域で豊かな生活を送るための「自治」が常に身近に感じられ、共に力を合わせて地域をより良くしていく活動につながる、住民自治を推進するための施設
3	幅広い年代の多様な人々が集まり、新たな発見や興味、好奇心、知恵、経験を互いに共有するための様々な場の提供	「わたしのこと」「誰かのこと」が「わたしたちのこと」になっていき、共に生きるために協力し合う意識が生まれ、関係性が築かれていく施設

こうした具体的な姿を目指すことで、愛称にも込められた「多くの人々が集い、ときめき、メキメキ成長できる場所」として、未来・図書館が一人一人にとって、豊かな未来を創造できる居場所となることで、市民や地域にとって現在、そして未来が『いい日々、いい時間。』となるよう継続的に支援を行うことを基本理念としています。

2 基本方針

ア 誰もが訪れやすく、きめ細やかなサービスを提供する施設

全ての市民にとって訪れやすい施設とするために、誰もが快適に過ごすことができ、気兼ねなく利用することができる場づくりを行います。また、全ての市民に対して、心を豊かにするための学び、文化、生涯学習との出会いを提供するとともに、市民の暮らしに関わる課題の解決に向けた支援を行います。

イ 一人一人の居場所、気付きがある施設

幅広い世代、多様な人々が、日常利用できる公園のように気軽に過ごすことができる居場所となるよう、自発的な学びと好奇心を育み、文化的で豊かな生活を支えていくための場づくりを行います。

ウ 絶え間ない交流、活動が生まれる施設

人と本（情報）だけでなく、人と人、学校や企業、施設、市民団体などの地域の様々なものをつなぎ、交流や自発的な活動が生まれる場づくりを行います。

エ こどもの学び、成長、楽しみに役立つ施設

未来を担う子どもたちが「本を選ぶ楽しさ」や「新たなことを知るよろこび」、「人に伝えるうれしさ」を得ることができる場づくりを行います。

オ 地域の記憶を収集・保存・編集し、活用していく施設

人々の記憶を地域全体の貴重な記憶として共有していくための資料の収集や保存、提供などの活動を通して、地域の過去・現在・未来をつないでいき、地域の歴史・文化の学びの場や、将来変化へ柔軟に対応する活動の場づくりを行います。

カ 中心市街地のシンボルとして誇りと愛着を感じることができる施設

施設を訪れる人や働く職員がいきいきと輝き、施設全体が希望と優しさに満ちあふれた活動の場となることで、まちのシンボルとしての誇りと愛着を感じられる雰囲気を作成します。

未来・図書館の概要



複合施設の概要

計画地：厚木市中町一丁目717番地ほか
敷地面積：約12,800㎡

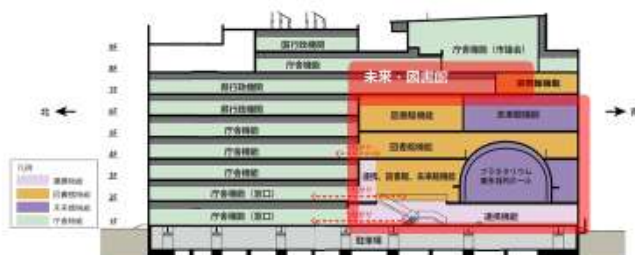
建築面積：約5,700㎡
延床面積：約47,800㎡
高さ：約43m
階数：地下1階、地上9階
構造：鉄骨造、免震構造



複合施設の機能

市庁舎、消防本部、国県の行政機関、未来・図書館

庁舎機能（市庁舎、消防本部、国県の行政機関）と一体となった建物に未来・図書館などを整備することにより、各機能が互いに関係し合い、相乗効果生まれる場となることを目指します。



未来・図書館の概要

屋上

天体観望ルーム **有料**

5階

体験・展示コーナー **工房 有料**
児童書エリア・閲覧席

4階

一般書エリア・閲覧席
静かな部屋

2階

プラネタリウム兼多目的ホール **有料**
ティーンズラウンジ
一般書エリア・閲覧席

1階

カフェ **ギャラリー 屋外広場 有料**
市民ラウンジ **イベント広場 有料**
予約本受取コーナー

広場的スペースの吹き抜け廻り（イメージ）



1 階

土と根 ～交流のフロア～

誰もが訪れやすく交流の起点となる空間

※画像や図面はイメージであり、今後変更になる可能性があります。

平面図



カフェ

利用者の交流や憩いの場とするカフェを設置し、民間事業者が運営します。

市民ラウンジ・イベント広場 有料

目的に合わせて自由に過ごすことができるラウンジを設置し、イベント広場としても活用します。

屋外広場 有料

観覧席のある屋外広場を設置します。

ギャラリー

市民団体などと協働した展示などを行うギャラリーを設置します。

予約本受取コーナー

予約した図書等を自分で借りる手続きができる予約棚と自動貸出機を設置します。

2 階

空と枝 ～広がり～のフロア～

充実した時間と居場所を創出する空間

プラネタリウム兼多目的ホール（イメージ）

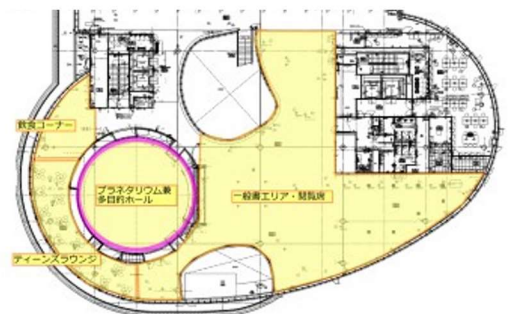


プラネタリウム兼多目的ホール 有料

星空を上映するだけでなく、様々な情報発信を行う場やミニコンサートなど多目的に使えるホールとしての利用もできます。

※画像や図面はイメージであり、今後変更になる可能性があります。

平面図



ティーンズラウンジ

中高生に相当する青少年を優先するスペースを配置します。読書や自習はもちろん、自律的に同世代とゆすり合い、認め合いながら個性豊かな人間として成長していくための居場所、交流、活動の場とします。

一般書エリア・閲覧席

青少年に人気の音楽やスポーツに関する本のほか、図書館に馴染みのない利用者の方も手に取りやすい雑誌や文庫を配置します。

一般書エリア・閲覧席（イメージ）



4階

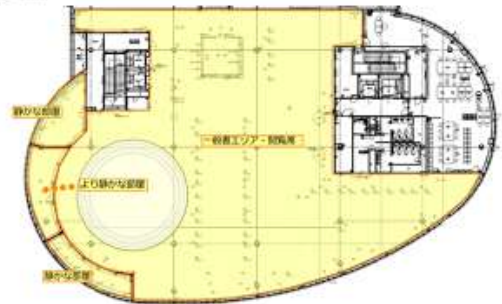
森と幹 ～本のフロア～ 知的好奇心を満たす空間



一般書エリア・閲覧席（イメージ）

※画像や図面はイメージであり、今後変更になる可能性があります。

平面図



一般書エリア・閲覧席

幅広い分野の資料を配架し、過去の新聞記事や法律情報のデータベースを利用できる専用端末のほか、好みや気分で自分の居場所を選ぶことができる多様な閲覧席を配置します。

また、日常の課題解決のため、司書による調査・相談（レファレンス）を拡充し、気軽なコミュニケーションを通じて最適な資料を提供します。

静かな部屋・より静かな部屋

集中して読書や資料の閲覧ができる部屋を配置します。また、利用目的に合わせて居場所を選ぶことができるよう、防音レベルの異なる部屋とします。

展示室（イメージ）



体験・展示コーナー

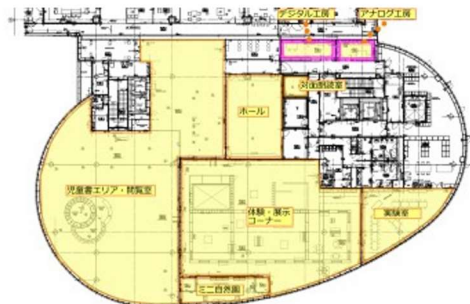
「感性」や「記憶」を刺激する体験装置を備えた常設の展示に加え、定期的にテーマを変えて特別展示を実施します。

5階

風と葉っぱ ～わくわくのフロア～ 新たな気づきや興味を呼び起こす空間

※画像や図面はイメージであり、今後変更になる可能性があります。

平面図



児童書エリア・閲覧席

児童書や絵本、紙芝居などを配架します。子どもや保護者の方がゆっくりと居心地のよい時間を過ごすことができよう席を配置します。

工房 有料

アナログからデジタルまで、様々なものづくりが可能となる設備を兼ね備えた工房を配置します。



工房（イメージ）